

～美濃加茂市企業版ふるさと納税～

人の未来をつくる

豊かな体験推進事業

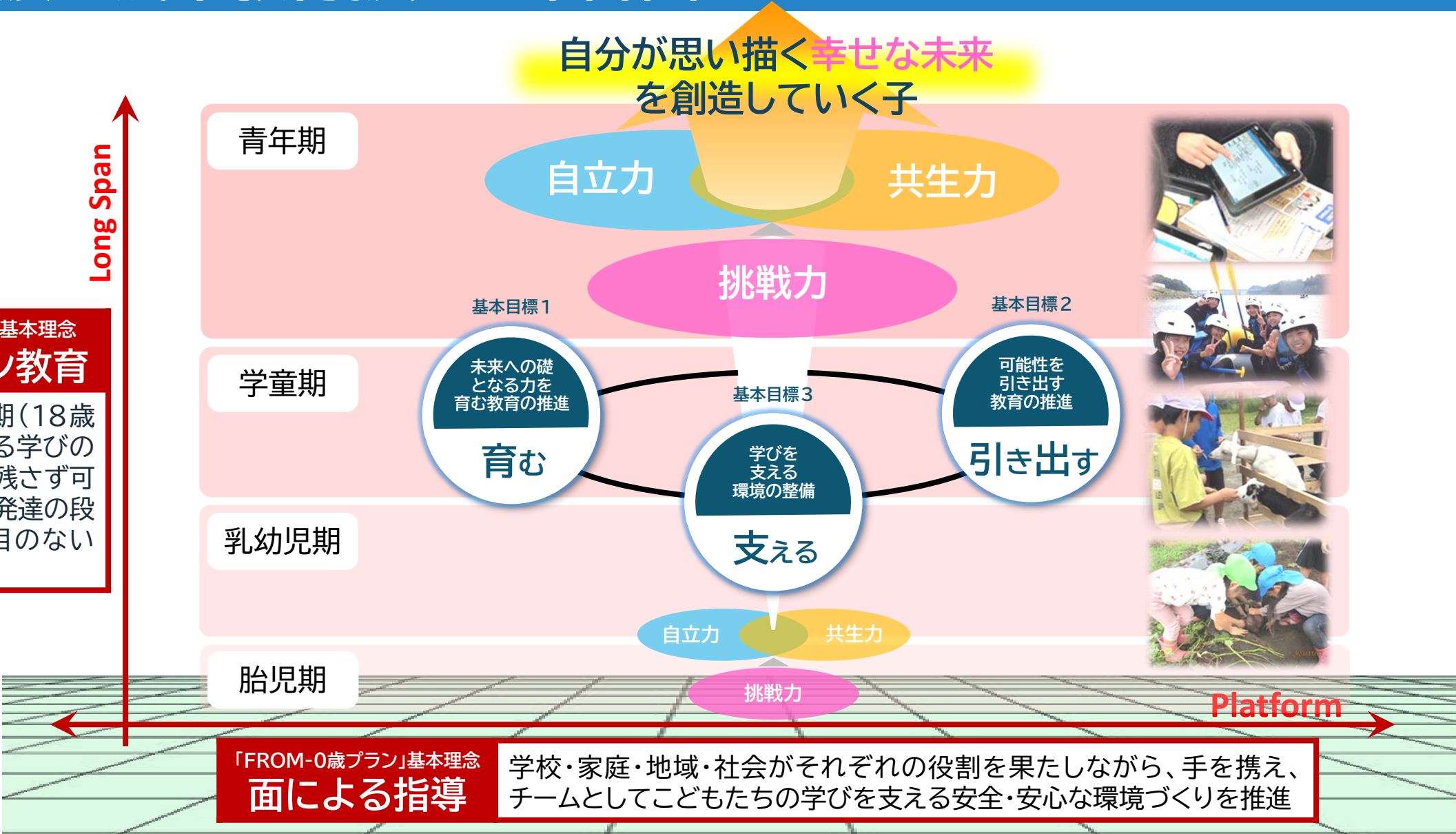


【紹介内容】

1. 第3次美濃加茂市教育振興基本計画
2. 豊かな体験推進事業

第3次美濃加茂市教育振興基本計画

*美濃加茂市第6次総合計画の教育分野を具体化した行動計画



「FROM-0歳プラン」基本理念
ロングスパン教育
胎児期から青年期(18歳頃)までの連続する学びの中で、誰一人取り残さず可能性を引き出す、発達の段階に応じた切れ目のない教育を推進

「FROM-0歳プラン」基本理念
面による指導
学校・家庭・地域・社会がそれぞれの役割を果たしながら、手を携え、チームとしてこどもたちの学びを支える安全・安心な環境づくりを推進

人の未来をつくる

豊かな体験推進事業

主体的・対話的に取り組む意欲

コミュニケーション能力

自己解決能力

故郷への誇りや愛着

- 体験活動はひとづくりの原点であり、人間的な成長に不可欠な教育活動。
- 家庭環境等の影響による体験格差の広がりが懸念される中、人・社会・自然とつながり、リアルな関係を広げ深めていく体験活動を意図的・計画的に創出。

基本目標 1 未来への礎となる力を育む教育の推進

① 豊かな人間性の育成

- ▶ 人権教育・道徳教育の推進
- ▶ 豊かな体験活動の推進
- ▶ 読書活動の推進

② 健やかな体の育成

- ▶ 健康教育と食育の推進
- ▶ 運動に親しむ機会の充実

③ 確かな学力と実践力の育成

- ▶ 多様な探究活動の推進
- ▶ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

未来への礎
となる力を
育む教育の推進

育む

① ふるさとの自然に触れる体験研修「ふるさと木曽川を感じる体験研修」 R6年度～

身近な川である木曽川で、
仲間と協働してラフティングによる川下りと、
ライフジャケットを着用しての水中浮遊を体験。

目的

このまちでしかできない魅力ある体験研修を通して、
ふるさとへの誇りと愛着、
自然の尊厳や共存等への意識、
仲間との協働する姿勢
等を育む。



委託 有限会社EAT & LIVE EARTHSHIP木曽川

令和6年度実績

- ▶実施日 R6.5～9
- ▶実施場所 美濃加茂リバーポートパーク⇄犬山市
- ▶参加者 573名(市内全小学校 *主に6年生)

《アンケート調査結果》

項目	結果
美濃加茂市のよさが分かり前よりも美濃加茂を好きになったと回答した児童生徒の割合	90.9%
川で気を付けることや水難事故防止のためにできることが分かったと回答した児童生徒の割合	99.4%
美濃加茂市の自然を大切にしたいと回答した児童生徒の割合	73.4%

調査月:令和6年11月
回答数:154名

《参加した子供たちの声》

「岐阜の美濃加茂がどれだけ自然があって、空気がおいしくてのどかが分かりました。」

② 専門家を活用した講座等 「わくわくドキドキ プログラミング体験広場」 R5年度～

思い通りにドローンを飛ばすためには、
どのようにプログラミングを行えばいいのか。

目的

児童生徒がプログラミングを体験し、
自ら意図するドローンの動きを実現するために試行錯誤
することを通して、
プログラミングの楽しさを味わい、
プログラミングスキルや
プログラミング的思考を育む。

プログラミング体験講座講師
ドローンエンターテイナー「のり」さん



令和6年度実績

- ▶実施日 R6. 8. 6・7
- ▶実施場所 美濃加茂市西体育館
- ▶参加者 63名(小学生51名、中学生12名)

《アンケート調査結果》

項目	結果
プログラミング体験講座に参加してよかったと回答した児童生徒の割合	100.0%
プログラミングについて、「もっと知りたい」「チャレンジしたい」と回答した児童生徒の割合	100.0%

調査月：令和6年8月
回答数：60名(小学生48名、中学生12名)

《参加した子供たちの声》

「ドローンをプログラミングで動かしたりするのは
難しかったけど、自分はプログラミングの道に進
んでみたかったから、すごく楽しかった。
ドローンの世界も体験できて面白かった。」

③ 専門家を活用した講座等 「ヤギさんふれあい教室」 H30年度～

学校にヤギさんがやって来る。
餌を食べさせながら体をなでたり、
聴診器を当て心音を聞いたりして、
楽しくヤギさんと触れ合います。

目的

美濃加茂市策定「里山千年構想」の下、
里山再生の一翼を担っている
ヤギさんとの触れ合いを通して、
命の尊さを肌で感じ、
自己・他者・生き物の命を
大切にする心情を育む。

委託 (有)FRUSIC
協力 岐阜大学応用生物科学部
岐阜県環境衛生課(可茂総合庁舎)



令和6年度実績

- ▶実施日 R6. 6～11
- ▶実施場所 各小学校
- ▶参加者 6校(主に1、2年生)

《参加した子供たちの声》

「ヤギさんの毛がふわふわする。」
「ヤギさんの心音と自分の心音と速さが違った。」
「すごくかわいい。動物に優しくしたい。」
「初めは怖かったけど、触れることができた。」